



編入学試験要項

学芸学部

津田塾大学

入試日程

第1次選考(書類選考) 出願期間	2017年9月4日(月)~9月15日(金) (必着)	入学検定料を振り込み、出願書類を郵送してください。 志望学科、年次に関し審査します。
第1次選考結果発表	2017年9月29日(金)	郵送(速達)で通知します。
第2次選考出願期間	2017年10月2日(月)~10月13日(金) (必着)	入学検定料を振り込み、第2次選考志願票を郵送してください。
試験日	2017年10月28日(土)	試験会場は本学(小平キャンパス)です。
合格発表日	2017年11月7日(火)	郵送(速達)で通知します。合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続締切日	2017年11月21日(火)(消印有効)	締切日までに入学申込金(入学金相当額)、学費その他の納入金を納入し、入学手続書類を提出してください。

学科及び募集人員（編入学年次）

英 文 学 科	若干名（原則として3年次）
国 際 関 係 学 科	5 名（2 年次または3年次）
数 学 科	若干名（2 年次または3年次）
情 報 科 学 科	2018 年度は募集しません。

出願資格

女子で、学士入学志願者、大学2年次以上修了者及び2018年3月大学2年次修了見込者、短期大学及び高等専門学校卒業生及び2018年3月卒業見込者またはこれと同等以上の学力があると認められた者

* 専門科目の履修状況等により、編入許可年次が変わることがあります。

* 外国の大学からの編入志願者は、出願資格を事前に審査します。第1次選考に必要な書類を7月中旬までに提出してください。

第1次選考（書類選考）

出願期間 2017年9月4日(月)～9月15日(金)（必着）

出願書類 下記の書類を所定の封筒に入れ、「簡易書留」（速達）で郵送してください。

①第1次選考志願票（本学所定用紙）

②大学、短期大学、高等専門学校の履修教科成績証明書
履修単位が明示されたもの。出身学校長作成

③第1次選考入学検定料振込証票（A）（本学所定用紙）

④住所ラベル（本学所定用紙）

⑤大学2年次修了見込み者の場合は、2年次で履修している科目がわかる書類

* 英文学科、国際関係学科に出願する場合は、上記①～⑤に加えて

⑥志望理由書（本学所定用紙）

本学英文学科、国際関係学科への志望動機について1200字以内で書いてください。

※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。PC等を使用する場合、ページ設定は1行40字×30行、字の大きさは12ポイント前後とし、A4判1枚に出力のこと。所定用紙は同封のものか、本学Webサイト（<http://www.tsuda.ac.jp/>）からダウンロードしたものを使用のこと。

手書きで作成する場合は、A4判2枚に黒のペンあるいはボールペンを使用のこと。

⑦英語の能力を証明する書類

TOEFL、TOEIC、IELTS、GTEC CBT、TEAP（4技能）の成績証明書（試験日から2年以内）、実用英語技能検定（英検）の合格証明書（CSEスコアが表示されたもの）のうち1つ以上

・TOEFL、IELTSの成績証明書はテスト機関から直接本学企画広報課入試室に送付してください。（TOEFLの大学コード0371）

・TOEICの公式認定証は、原本の写しを出願書類に同封してください。

・実用英語技能検定（英検）の合格証明書原本（CSEスコアが表示されたもの）、GTEC CBT、TEAP（4技能）は成績証明書原本を出願書類に同封してください。

* 志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

※受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にはできるだけ早く本学企画広報課入試室に連絡してください。

※出願の際にご提出いただいた書類は返却いたしません。

入学検定料 10,000円 振込用紙（本学所定用紙）に必要事項を記入し「電信扱」で振り込んでください。振込証票（A）の収納印を確認し提出してください。いったん納入された入学検定料は、出願後は返還しません。

第1次選考結果発表 2017年9月29日(金)

第1次選考結果は郵送で通知します。合格者には第2次選考志願票を同封します。

第2次選考（筆記試験及び面接） 第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。

出願期間 2017年10月2日(月)～10月13日(金)（必着）

出願書類 第2次選考志願票（本学所定用紙）
入学検定料納入後、写真を貼り、所定の封筒に入れ、必ず、10月13日(金)までに本学企画広報課入試室に届くよう「簡易書留」（速達）で郵送してください。

入学検定料 25,000円 振込用紙（本学所定用紙）に必要事項を記入し「電信扱」で振り込んでください。志願票の収納印を確認し提出してください。いったん納入された入学検定料は、出願後は返還しません。

受験票の発送 2017年10月20日(金) 受験票は一齐に郵送します。10月24日(火)までに受験票が届かない場合は、本学企画広報課入試室に問合せください。

試験日 2017年10月28日(土)

試験会場 本学（小平キャンパス）
1. 試験会場案内図を当日正門脇の守衛所で受取ってください。
2. 試験日以前に試験会場の下見をすることはできません。ただし、建物内を除く敷地内の見学は可能です。

試験科目・時間割

英 文 学 科	9:30～11:10 (100分)	13:30～
	英語	面接 (英会話を含む)

国 際 関 係 学 科	9:00～9:50 (50分)	10:10～11:10 (60分)	12:10～
	第二外国語	小論文	面接

数 学 科	9:00～12:00 (180分)	13:00～
	専門科目	面接

試験科目内容

英 文 学 科	英 語：英文和訳、和文英訳、英作文
国 際 関 係 学 科	第二外国語：フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語から1科目選択 (ただし母語を除く。) 小 論 文：日本語による小論文
数 学 科	専 門 科 目：微分積分、線形代数 2年次編入希望者は本学1年次で学ぶ内容程度の問題を解答します。 3年次編入希望者は、これに加えて、本学2年次で学ぶ内容程度の問題から選択して解答します。(p.6参照)

受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 国際関係学科及び数学科の受験者は試験当日 8 時 40 分までに所定の試験室に入室、着席してください。受験者の入室開始時刻は 8 時です。
英文学科の受験者は 9 時 10 分までに所定の試験室に入室、着席してください。受験者の入室開始時刻は 8 時 30 分です。
3. 答案は、HB または B の鉛筆もしくはシャープペンシル、黒または青のボールペン（万年筆も可）を使って書いてください。消しゴムは使用してかまいませんが、定規、コンパス、下敷き、色鉛筆の使用は禁止します。電卓（計算機つき時計を含む）及び辞書・端末機能を備えた時計の使用は禁止します。
4. 試験室内では、筆記用具以外の携帯品はすべて指定された場所に置いてください。また、携帯電話等は電源を切り、カバン等の中にしまってください。携帯電話を時計として使用することはできません。（試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計を持参してください。）
5. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
6. 昼食を持参してください。

万一、受験票を紛失した場合は、試験当日、入学検定料の振込と本人であることを証明する書類を持参のうえ、試験本部に申し出てください。

合格発表

2017 年 11 月 7 日(火)

合格結果は郵送（速達）で通知します。合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。合格発表日当日に届くように発送しますが、到着が翌日になる場合もあります。

入学手続

2017 年 11 月 21 日(火)（消印有効）

上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」及び「学費その他の納入金」を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

入学手続に関する注意事項

1. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
2. 2018 年 4 月 2 日(月)（郵送必着）までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金を返還します。

*入学手続後であっても、入学資格（p. 2「出願資格」に定める要件）を満たせない場合は、入学許可が得られません。

学費・その他の納入金（参考：2017年度）

2018年度入学者の入学金・学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金は10月初旬に決定します。

（単位：円）

学 科	入学時納付		10月中納入	初年度合計
英 文 学 科 国際関係学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 375,000	後期 375,000	750,000
	施設設備費	前期 125,000	後期 125,000	250,000
	計	700,000	500,000	1,200,000
数 学 科 情報科学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 415,000	後期 415,000	830,000
	施設設備費	前期 140,000	後期 140,000	280,000
	計	755,000	555,000	1,310,000

*次年度以降の学費（授業料・施設設備費）については次のとおりです。

授業料は毎学年10,000円増の漸増方式を適用します。

英文学科・国際関係学科 2年目 760,000円 3年目 770,000円

数学科・情報科学科 2年目 840,000円 3年目 850,000円

施設設備費は毎学年3,000円増の漸増方式を適用します。

英文学科・国際関係学科 2年目 253,000円 3年目 256,000円

数学科・情報科学科 2年目 283,000円 3年目 286,000円

その他の納入金について

- (1)「学生教育研究災害傷害保険」（「学研災付帯賠償責任保険」含む）は入学年度のみ納入し、保険料は2年次編入学者3,120円、3年次編入学者2,080円（参考：2017年度）で、全員加入を実施しています。なお、任意保険として「学研災付帯学生生活総合保険」もあります。
- (2)「津田塾大学同窓会費積立金」は50,000円（終身会費）です。初年度のみ納入し、その利子は奨学金として運用されています。

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続きにあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続きと、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。

なお、入学手続き時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続きのため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

〔参考〕数学科の専門科目について本学の履修内容を記載します。

※1、2年次の履修内容を本学シラバスより抜粋しました。

〈数学科・1年次〉

微分積分学Ⅰ・同演習〔1, 3, 4ターム 週4時間 6単位〕

微分積分学は数学はもとより物理学を始めとする自然科学の基礎をなすものである。この講義では高等学校で学んだ微分積分学およびその発展をさらに深く体系的に学び、基礎を身につけることを目標とする。そのために、高等学校では直感的な説明で済ませていた、収束の厳密な扱い方から始める。それをもとに、関数のテイラー展開、多変数関数の極値問題、定積分、広義積分について学ぶ。

数学序論・同演習〔1ターム 週4時間 2単位〕

集合・論理・写像・複素数など、大学数学に必要な基礎的な事柄を学ぶ。

代数と幾何Ⅰ・同演習〔3, 4ターム 週4時間 4単位〕

ベクトルの演算のみたす性質を学び、1次独立、部分空間、基底次元についての基本的な概念に慣れる。その後、行列の定義、演算を学習する。その応用として、連立1次方程式の解法を習得し、その解空間の構造を理解する。

プログラミング入門・同演習〔3, 4ターム 週4時間 4単位〕

Mathematicaの基本的な使い方を学んだ後に、Mathematicaを使って、プログラミングの基本的な考え方を学ぶ。また、その応用として、様々な関数のグラフを書いたり、数値計算をする。

〈数学科・2年次〉

微分積分学Ⅱ・同演習〔1, 2, 3, 4ターム 週4時間 6単位〕

1年次で学んだ微分積分Ⅰに引き続き、多変数関数の条件付局地問題および積分とその応用、さらには、ベクトル解析と級数について講義する。前期は主に2変数、3変数関数の積分、曲線と曲面、ベクトル解析の入門について講義する。後期はスカラー場とベクトル場と線積分と面積分および積分定理について解説し、最後に級数について講義する。

代数と幾何Ⅱ・同演習〔1, 2, 3, 4ターム 週4時間 6単位〕

代数と幾何Ⅰに引き続き、線形代数について学ぶ。まず代数と幾何Ⅰで学んだベクトルの1次独立、1次従属について復習した後、行列の固有値と固有ベクトルについて講義する。固有値、固有ベクトルの概念は線形代数の理論を展開する上でも、線形代数を応用する上でも鍵となる重要なものである。その後、ベクトル空間と線形写像について講義する。これはベクトルと行列を抽象化した概念で、このような概念を導入することにより、線形代数の応用範囲は格段に広がる。最後にベクトル空間の内積と実対称行列の対角化について講義する。

プログラミングⅡa〔1, 2ターム 週2時間 2単位〕

数式処理システム Mathematica を使ってプログラミング言語の基本概念を深く学ぶとともに、演習を通して数学への理解を深める。

プログラミングⅡb〔3, 4ターム 週2時間 2単位〕

プログラミング言語 Java を使ってプログラミングの基礎を習得し、基本的なプログラムを独力で書けるようになることを目指す。Java 言語の基本を学びつつ、簡単なアルゴリズム、プログラムが実行される仕組み、統合開発環境、デバッグ手法についても学ぶ。